

## 教育委員会

( 予算額 ) ( 決算額 )

### 総務課

#### I 事務局費

1	教育広報事業	17,037	16,879	教育委員会の広報活動を推進するため、県域テレビ・ラジオで教育番組を制作・放送するとともに、教育広報紙の発行を行った。
---	--------	--------	--------	--

#### II 教育連絡調整費

1	教育ネットワーク・ICT環境整備事業	407,829	405,770	県立学校のインターネット環境整備を行った。また、ICT学習環境を整備するため、電子黒板やプロジェクタ・スクリーン等を購入した。
2	被災児童生徒就学支援事業	181	71	東日本大震災で被災し、経済的理由から就園・就学が困難となった幼児児童生徒に対し、市町村が行う就学等支援事業に要する経費の補助を行った。
3	ICT活用教育推進プロジェクト事業	185,116	184,759	授業でのICT活用による分かりやすい授業の実現と子供たちの情報活用能力の育成を図るため、教員研修を2回実施した。また、教員用パソコンの維持管理を行った。
4	きのくにICT教育事業	76,596	73,713	県内全ての公立学校においてプログラミング教育を実施した。また、プログラミングについての教員研修を実施するとともに、プログラミング教育支援員を小・中・高・特別支援学校に派遣した。
5	これからの和歌山の教育をつくる教職員の育成事業	5,023	4,339	専門性を必要とする業務に従事する教職員の知識、技能を向上させるとともに業務の負担軽減を図るため、退職教員を登用した。
6	オンライン授業で学びの深化事業	18,314	11,314	新型コロナウイルス感染症拡大による臨時休業時におけるモバイルルーターの貸与等、オンライン学習環境の整備を行った。
7	わかやまスクールパワーアップ事業	10,093	8,764	県内の公立学校が独自に実施する児童生徒の主体的な取組や地域の実情に応じた取組に対し、支援(35団体)を行った。

#### III 教育振興費(中学校費)

1	県立中学校一般運営費事業	42,610	42,324	県立中学校5校の管理運営を行った。
---	--------------	--------	--------	-------------------

#### IV 全日制高等学校管理費

1	全日制高等学校一般運営費事業	1,190,712	1,180,655	全日制高等学校29校、分校4校の管理運営を行った。
---	----------------	-----------	-----------	---------------------------

**V 定時制高等学校管理費**

1	定時制高等学校一般運営費事業	69,893	69,079	定時制高等学校9校の管理運営を行った。
---	----------------	--------	--------	---------------------

**VI 教育振興費（高等学校費）**

1	全日制高等学校遠距離通学費等補助金事業	4,033	3,100	特別地域（山間・へき地）から通学する県立全日制高等学校生徒に対し、通学費等の一部を補助することにより修学の機会均等を図った。
---	---------------------	-------	-------	--

〔補助対象者数及び補助金額〕

区 分	人 数	金 額
下宿	13	1,053
交通機関	34	1,889
単車・自転車	18	158
計	65	3,100

2	教育設備等整備事業	230,572	230,087	高等学校の産業教育設備、理科に係る設備の充実を図るため、実験・実習用備品の整備を行った。また、情報処理教育の充実を図るため、情報機器の設備更新等を行った。
---	-----------	---------	---------	---

**VII 学校建設費**

1	校地等整備事業	237,370	237,370	高等学校3校の運動場等整備工事を行った。 ・桐蔭高校 テニスコート整備工事 ・耐久高校 テニスコート整備工事 ・紀央館高校 運動場整備工事
2	大規模改造事業	517,957	473,987	高等学校1校において、築後20年以上の老朽建物の大規模改造工事を行った。 ・南部高校龍神分校 教室棟 1,689㎡
3	校舎等増改築事業	348,934	348,934	高等学校1校において、寄宿舍及び講堂の新築工事を行った。 ・熊野高校 寄宿舍新築工事 ・熊野高校 講堂新築工事

(前年度繰越分)

1	大規模改造事業	99,278	66,001	高等学校1校において、築後20年以上の老朽建物の大規模改造工事を行った。 ・粉河高校 同窓会館棟 605㎡
2	校舎等増改築事業	140,081	140,081	高等学校1校において、寄宿舍及び講堂の新築工事を行った。

- ・熊野高校 寄宿舎新築工事
- ・熊野高校 講堂新築工事

## VIII 特別支援学校費

1	特別支援学校一般運営費事業	908,917	883,973 〔翌年度繰越額〕 14,400	特別支援学校11校の管理運営を行った。
---	---------------	---------	-------------------------------	---------------------

## IX 教育振興費（特別支援学校費）

1	特別支援学校教育設備等整備事業	57,104	41,031	特別支援学校の教材の整備等を行った。
---	-----------------	--------	--------	--------------------

## X 特別支援学校建設費

1	南紀・はまゆう支援学校再編整備事業	1,057,061	1,033,396 〔翌年度繰越額〕 20,858	南紀・はまゆう統合支援学校（仮称）の校舎の新築工事を行った。 ・校舎（知的棟外） 7,536㎡
---	-------------------	-----------	---------------------------------	--

（前年度繰越分）

1	南紀・はまゆう支援学校再編整備事業	49,270	49,270	南紀・はまゆう統合支援学校（仮称）の校舎の新築工事を行った。 ・校舎（知的棟外） 7,536㎡
---	-------------------	--------	--------	--

## 教職員課

### I 教育連絡調整費

1	これからの和歌山の教育をつくる教職員の育成事業	2,974	2,242	将来管理職になっていく中堅教員を対象に、学校を管理運営する資質能力を育成するミドルリーダー育成研修、マネジメント力向上研修を開催するとともに、公立学校運営基礎資格試験を実施した。
---	-------------------------	-------	-------	---

## 人権教育推進課

### I 教育連絡調整費

1	人権教育推進事業	3,315	2,493	同和問題をはじめとした様々な人権問題の解決を目指し、学校における人権教育の推進を図るため、教職員の研修、学校訪問及び指導者用資料等の刊行等を行った。
---	----------	-------	-------	--

**II 社会教育総務費**

1	人権教育総合推進事業	11,908	8,465	人権問題に対する理解と認識を深め、差別意識の解消を図るため、人権問題に関する教育・啓発事業補助、保護者学級開設事業補助・委託、識字教育推進事業、人権教育指導者研修講座、人権教育地方別研修会、指導者用資料及び学習教材等の作成を行った。
2	学びのセーフティネット事業	23,134	19,843	年齢・国籍に関係なく、学び直しを希望する社会人等に学習機会を提供するため、定時制高等学校4校できのくに学びの教室を開設した。 ・受講者数 128人

**生涯学習課**

**I 教育連絡調整費**

1	奨学のための給付金（公立分）事業	242,998	227,561	授業料以外の教育費負担を軽減するため、高校生等がいる低所得世帯に対して「奨学のための給付金」の支給を行った（1,952件）。
2	和歌山県大学生等進学支援金事業	101,045	91,304	意欲と能力が高い者が、経済的な事情に左右されず、大学等に進学して学び、将来の地域社会の担い手となるよう、低所得世帯の令和5年度入学予定者に対して「和歌山県大学生等進学支援金」を新たに貸与した（35人）。

**II 社会教育総務費**

1	生涯学習推進の基盤整備事業	484	447	県民の新たな生涯学習の場として、地域住民や社会教育行政関係者を対象とした「学び・楽しみ・つながる」講座を実施した。 ・講座回数6回、受講者数延べ109人
2	地域ふれあいルーム推進事業	14,549	11,931	放課後や週末等に学校の余裕教室等を活用し、地域住民との交流活動等の取組を実施する拠点として、「地域ふれあいルーム」を開設し、大人と子供の交流活動を推進した。 ・放課後等子ども教室 16市町94箇所（和歌山市を除く。） ・いきいき交流教室（県立特別支援学校） 10校10箇所
3	きのくにコミュニティスクール推進事業	3,263	2,499	きのくにコミュニティスクール推進に係る研修会やフォーラムを開催するとともに、県内8箇所で座談会を行い、コミュニティ・スクールに対する理解の促進と地域の実情に合わせた取組の充実を図った。また、和歌山県CSマイスターを派遣し、学校・家庭・地域が連携して子供たちの育ちを支える体制づくりについての指導・助言を行った。
4	子どもの居場所づくり事業	21,766	18,736	放課後等に一人で過ごさなければならない小学校4年生から6年生等に対し、学習支援や大人とのふれあいの機会を定期的・継続的に提供し、学習習慣の定着やコミュニケーション力の向上等を支援する取組を実施した。

				<ul style="list-style-type: none"> <li>・23市町村58箇所（和歌山市を除く。）</li> </ul>
				注）新型コロナウイルスの感染拡大のため3市町3箇所については中止。
5	訪問型家庭教育支援事業	13,888	11,157	<p>専門講座やフォーラムを通して家庭教育について啓発を行い、家庭教育支援の関係者の資質向上と人材育成を行った。また、子育て中の保護者等がつながりを深める機会となるよう子育て講座を実施し、家庭教育に関する基礎的な知識の普及、啓発を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・10市町（和歌山市を除く。）</li> </ul>
<b>Ⅲ 視聴覚教育費</b>				
1	文化情報センター運営事業	17,182	14,538	<p>県民カレッジや様々な事業の情報提供等を行うとともに、外部コーディネーターによる優れた音楽や文化の発信により、県の生涯学習推進の拠点施設として県民の幅広い生涯学習活動の促進を図った。</p>
<b>Ⅳ 図書館費</b>				
1	蔵書充実事業	59,831	59,792	<p>県の中核図書館として、広く県民の生涯学習ニーズに応えるため、課題解決や子供の読書推進に必要な資料の充実を図った。また、和歌山県に関する資料の収集に努めた。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和3年度末蔵書冊数 1,076,414冊</li> <li>・令和4年度末蔵書冊数 1,093,883冊</li> </ul>
2	南葵音楽文庫事業	7,285	7,230	<p>寄託された紀州徳川家ゆかりの南葵音楽文庫を保管・整備するとともに、文庫を活用した啓発・普及活動を行った。</p>
<b>スポーツ課</b>				
<b>Ⅰ 体育振興費</b>				
1	ゴールデンキッズ発掘プロジェクト事業	15,080	13,484	<p>各種の体力測定により優れた素質を有する小学生を発掘し、発達段階に応じた様々な育成プログラムを実施した。令和4年度の体力測定会により、17期生30人を認定するとともに16期生7人を追加認定した。</p>
2	国民体育大会・近畿ブロック大会派遣事業	62,552	62,461	<p>栃木県で開催された第77回国民体育大会に本県選手団として監督・選手272人を派遣するとともに、青森県・岩手県で開催された特別国民体育大会冬季大会には2競技に27人を派遣した。</p> <p>〔第77回国民体育大会和歌山県選手団の成績〕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・男女総合成績 第39位（天皇杯：761.5点）</li> <li>・女子総合成績 第36位（皇后杯：483点）</li> </ul>

3	和歌山県市町村対抗ジュニア駅伝競走大会開催事業	24,065	20,558	また、京都府を中心に開催された近畿ブロック大会には30競技に767人を派遣し、16競技24種別30種目が本大会へ出場した。 スポーツの振興及び県・各市町村の活性化に資するため、第22回和歌山県市町村対抗ジュニア駅伝競走大会を開催した。
4	広域スポーツセンター育成事業	1,123	865	地域のスポーツ活動の核となる総合型地域スポーツクラブの支援・普及を図るため、(公社)県体育協会等にきのくに広域スポーツセンター事業を委託、実施した。
5	三四六総合運動公園管理運営事業	49,075	49,075	田辺市が運営する三四六総合運動公園の管理運営費のうち、旧南紀スポーツセンターに係る経費について、田辺市に交付した。
6	トップアスリート育成事業	143,332	132,162	国民体育大会や国際大会等で活躍できる競技者の育成により、競技力の向上を図った。
7	コーチスキルアップ事業	13,717	11,101	トップコーチ招聘による各種研修会の実施や県内指導者の全国大会等競技会への派遣研修等により、指導者の資質の向上を図った。
8	スポーツ医・科学サポート事業	24,192	24,192	各専門機関と連携し、県内競技団体の指導者や競技者にスポーツ医・科学面からのサポートを実施した。
9	さあ スポーツだ！プロジェクト事業	10,252	10,158	生涯にわたってスポーツに親しむ気運を醸成するため、わかやまりレーマラソンやマスターズスポーツ体験会を開催した。
10	ハイスクール強化校指定事業	24,400	21,016	本県高校生の競技力向上のために94運動部を指定し、実施する事業に対し支援した。
11	ジュニアハイスクール指定事業	9,290	7,936	本県中学生の競技力向上のために36運動部を指定し、実施する事業に対し支援した。

## II 体育施設費

1	県立体育館・武道館維持運営管理事業	98,699	94,535	県立体育館及び県立武道館の管理を指定管理者である(公財)和歌山県スポーツ振興財団に行わせた。 ・年間利用者数 92,241人
2	和歌山ビッグ愛・ビッグホエール・ビッグウェーブ維持運営管理事業	442,629	381,002	和歌山ビッグ愛、和歌山ビッグホエール及び和歌山ビッグウェーブの管理を指定管理者である(公財)和歌山県スポーツ振興財団に行わせた。 ・年間利用者数 311,357人
(前年度繰越分)				
1	和歌山ビッグ愛・ビッグホエール・ビッグウェーブ	64,505	40,062	和歌山ビッグ愛、和歌山ビッグホエールの電話交換設備改修工事を行った。

ブ維持運営管理事業

文化遺産課

I 文化振興費

1	文化振興事業	770	539	芸術鑑賞の機会が少ない地域の子供たちを対象に、優れた芸術に直接触れる機会を提供するため、青少年劇場小公演を開催した。また、県立博物館施設4館において、入館料等のキャッシュレス決済に対応し、利用者の利便性向上を図った。 ・青少年劇場小公演回数 6回
2	挑戦！わかやまの歴史事業	4,965	4,950	県内の中学生を対象に、和歌山の歴史や文化財に関するクイズ大会を開催した。また、県立博物館において、県内在学の小・中学生を対象とした「けんぱく・こどもゼミ」を実施し、歴史や文化財に興味を持つ子供たちの学習意欲の向上を図った。 ・クイズ大会参加者 41人（10校・14チーム） ・けんぱく・こどもゼミ修了生 15人

II 文化財保護費

1	文化財保護育成補助事業	73,236	66,324 〔翌年度繰越額〕 3,590	国・県指定文化財及び埋蔵文化財の保存と活用を図るため、所有者等が実施する文化財保存事業に対して補助を行った。 ・建造物、美術工芸品、記念物等の保存修理等に係る補助金 41件 （国指定文化財：13件、県指定文化財：28件） ・発掘調査に係る補助金 7件 ・登録有形文化財の保存修理に係る補助金 9件
2	世界遺産管理事業	13,691	12,228	自然災害や経年劣化により損傷した参詣道等の復旧及び周辺整備並びに参詣道の維持管理等の事業に対して31件の補助を行った。
3	岩橋千塚古墳群追加指定事業	28,014	27,624	平成29年度及び30年度に作成した航空レーザー測量図を基に、追加指定候補地にある古墳の分布調査を実施し、追加指定に必要な資料を収集した。また、令和3年度からの3箇年計画で実施している土地の境界確定事業のうち、2年目の事業を完了した。
4	未来につながる文化財次世代継承事業	22,429	14,483	災害や盗難に備えるため、重要文化財建造物、仏像等のデータベース化を推進するとともに、文化財の盗難対策に関するリーフレットを作成・配布した。また、近代文化遺産の確認調査及び測量を実施するとともに、これまでの成果をまとめた報告書を刊行した。
5	特別史跡岩橋千塚古墳群等保存整備・活用事業	51,146	50,316	天王塚古墳の墳丘整備工事に着手するため、仮設道路の整備等を実施した。また、大日山35号墳及び前山A13号墳において、雨水対策のための排水路を設置するなど、特別史跡岩橋千塚古墳群の保存と活用を図る上で必要な整備を推進した。

6	和歌山博物館施設デジタル化計画事業	5,108	4,712	紀伊風土記の丘の収蔵品・古墳をデータベース化するとともに、県立近代美術館及び博物館と共同で、県立博物館施設3館が収蔵する資料の横断検索ができるポータルサイトを開設した。
(前年度繰越分)				
1	文化財保護育成補助事業	2,285	2,257	国指定文化財等の保存と活用を図るため、所有者等が実施する文化財保存事業に対して補助を行った。 ・建造物の保存修理及び史跡等の買上げに係る補助金 2件
2	特別史跡岩橋千塚古墳群等保存整備・活用事業	64,128	64,128	天王塚古墳への連絡道路の設置工事を実施した。
<b>III 美術館費</b>				
1	展覧会開催事業	17,496	16,625	県立近代美術館において、国内外の作家の優れた美術品を鑑賞する機会を提供するための企画展を4回、美術館所蔵の美術品を広く公開する常設展（コレクション展・特集展示）を4回開催した。また、国際課と共にインド文化を紹介する特別事業も実施した。 ・年間入館者数 47,017人
2	紀南地方の美術館との合同展覧会事業	22,509	20,733	田辺市立美術館、熊野古道なかへち美術館（田辺市立美術館分館）と協力し特別展「稗田一穂展」を開催した。また活躍中の若手作家紹介とワークショップを実施した。 ・会期：令和4年9月10日～11月6日 入場者数 6,707人
3	和歌山博物館施設デジタル化計画事業	6,800	3,063	県立近代美術館の収蔵品をデータベース化するとともに、県立博物館及び紀伊風土記の丘と共同で、県立博物館施設3館が収蔵する資料の横断検索ができるポータルサイトを開設した。
<b>IV 博物館費</b>				
1	展覧会開催事業	11,854	11,603	県立博物館において、特別展を2回、企画展を6回開催した。また、県民の生涯学習等の充実に資するため、本県の原始から近現代に至るまでの歴史と文化を紹介する常設展を開催した。 ・年間入館者数 24,677人
2	和歌山博物館施設デジタル化計画事業	3,211	2,485	県立博物館の収蔵品をデータベース化するとともに、県立近代美術館及び紀伊風土記の丘と共同で、県立博物館施設3館が収蔵する資料の横断検索ができるポータルサイトを開設した。
<b>V 紀伊風土記の丘管理費</b>				



1	展示・調査事業	8,999	8,871	紀伊風土記の丘において、調査研究の成果をもとに企画展を3回、特別展（「紀氏、大地を開く一宮井用水と耕地開発」）を1回開催した。また、常設展を開催した。 ・年間入館者数 12,238人
2	ふるさと紀の国ふれあい体験事業	2,129	2,011	郷土の歴史や文化に対する関心を高めるため、小学生から大人までを対象に各種催し物を開催した。 ・参加者数 延べ1,679人
3	紀伊風土記の丘新館建設事業	142,597	112,810	新館建設予定地の測量を実施するとともに、用地造成、新館建設、既存館の改修及び展示・収蔵設備に関する基本設計を行った。

## VI 自然博物館費

1	教育普及展示事業	7,494	7,494	自然博物館において、自然に関する知識を広く県民に普及させるため、特別展を1回、講演会を2回開催した。また、小・中学校や教育団体等を対象とした出前教室を21回（対象772人）、各種イベントを19回実施した。 ・年間入館者数 116,008人
---	----------	-------	-------	--

## 県立学校教育課

### I 教育連絡調整費

1	特別支援学校看護師派遣事業	83,320	72,760	医療的ケアを必要とする幼児児童生徒が在籍する特別支援学校9校に看護師を派遣し、医療行為等専門的な対応を行った。対象幼児児童生徒の在籍が多い学校に看護師の複数配置を行った。
2	国際人育成プロジェクト事業	149,803	148,579	実践的な英語力向上に向けた授業改善を目的とした高等学校の英語科教員対象の研修や、高校生英語ディベート大会及びわかやま高校生クイズ in English等を開催した。
3	きのくに科学オリンピック事業	745	433	高校生を対象（参加：5校・10チーム）に科学や理数系分野への学習意欲の向上を図り、科学技術の発展を担う人材を育成することを目的としたきのくに科学オリンピックを開催し、「科学の甲子園」全国大会への出場校を決定した。
4	就職支援プロジェクト事業	36,964	34,797	民間企業経験者14人を就職希望者の多い県立学校16校2分校に就職指導員として配置し、求人開拓、就職した卒業生の訪問、生徒への相談活動や社会人基礎力を身につけるための指導等を行った。
5	学習指導支援員派遣事業	1,610	1,394	若手教員等への学習指導等に関するスキルの継承を図るため、学習指導支援員を県立学校18校に派遣した（延べ90人）。

6	きのくにコミュニティスクール推進事業	3,421	2,093	全ての県立学校に学校運営協議会を設置し、地域住民や保護者等を委員に任命した。また、各協議会において、年間3回程度の会議を開催し、学校運営の基本方針の承認や課題解決のための具体的な手立てについての協議を行った。
7	わかやま農業教育一貫プロジェクト事業	2,144	1,308	農業系高校の学習成果を発表する場として、わかやま農業高校マルシェを開催した。また、学習内容や農業を支える人材育成について協議するわかやま農業教育推進協議会を開催した。
8	宇宙教育推進事業	3,772	1,904	児童生徒の宇宙をはじめとする科学への興味・関心を高めるため、シンポジウム及び関連イベントへの参加を促進した。また、和歌山県宇宙教育検討会議を年間3回開催し、宇宙を題材に学習する高等学校のカリキュラム開発を行った。ロケット発射見学については、発射時期の延期のため中止した。

## II 文化振興費

1	高等学校文化部活動支援事業	1,573	1,546	県高等学校総合文化祭の開催費を補助することにより、生徒の相互交流と芸術文化活動の活性化、文化部活動の発表の場の確保等、高等学校文化部活動の支援を行った。
2	近畿高等学校総合文化祭開催事業	44,667	39,966	第42回近畿高等学校総合文化祭和歌山大会として、総合開会式及び各部門大会を開催した。また、生徒企画委員会を立ち上げ、広報活動及び大会運営を行った。

## III 体育振興費

1	全国高等学校総合体育大会ヨット競技大会開催事業	21,270	21,270	令和4年度全国高等学校総合体育大会ヨット競技大会の開催に必要な経費に対して補助を行った。
---	-------------------------	--------	--------	--

## 義務教育課

### I 教育連絡調整費

1	国際人育成プロジェクト事業	31,091	30,333	教員の英語指導力向上を図るため、小学校の教員及び中学校の英語科教員等を対象とした研修を実施した。また、英語への興味・関心の喚起と英語力の向上を図るため、公立中学3年生を対象に英語検定を学習指導に活用した。
2	きのくに科学オリンピック事業	250	248	科学に関心のある中学生が切磋琢磨する場を設け、科学や理数系分野への学習意欲の一層の向上を図った。
3	学校図書館の充実事業	1,962	1,217	学校図書館の整備充実と活用促進を図るとともに、県内の公立小・中・義務教育学校の学校図書館担当教員等を対象に研修会を実施した。

4	幼児教育関係職員研修事業	965	656	公私立の幼稚園・保育所・認定こども園の職員を対象に、その資質向上を図るため職種や経験年数に応じた研修や、保育者に必要なテーマを設けた研修会を実施した。
5	ふるさと教育の充実事業	7,607	6,923	児童生徒のふるさと和歌山に対する興味・関心を深め、ふるさとを愛する心を育むため、「わかやま何でも帳」等を活用したふるさと教育を推進した。
6	幼児教育総合プロジェクト事業	4,905	4,716	幼児教育アドバイザーを2人配置し、幼稚園・保育所・認定こども園を訪問して保育実践に対する助言を行い、幼児教育の質の向上を図った。また、幼児教育と小学校教育の連携及び円滑な接続を推進するため、幼児教育関係者と小学校教育関係者が集う研修会を県内6地域に分けて開催した。
7	これからの和歌山の教育をつくる教職員の育成事業	1,608	923	教員の指導力向上のため、各教科等研究団体が実施する研究会での講演等における講師招聘の支援を28件行った。
8	きのくに学力向上総合戦略事業	53,494	51,691	10月に小学校4・5年生を対象に国語、算数及び理科（理科は、小学校5年生のみ）、4月・12月に中学校全学年を対象に国語、数学及び英語の学習到達度調査（中3の4月は英語のみ）を実施し、学習到達状況や改善状況を把握するとともに、「結果分析と指導のポイント」や「復習教材」等を各学校に提供した。また、指導力向上に係る研修や学力向上に係る小・中学校校長研修会等、教職員を対象とした研修を開催した。
9	きのくに学力定着フォローアップ事業	9,308	8,995	優れた教育実践力を持つ退職教員等をアドバイザー（33人）として、課題の大きい学校（40校：小学校23校・中学校17校）に派遣し、授業改善など学力向上の取組を支援した。
10	部活動推進事業	34,614	24,933	中学校の部活動に部活動指導員を96人派遣し、部活動の活性化と顧問教員の負担軽減を図った。
11	読書を楽しむ習慣づくり事業	1,000	1,000	小学生の読書を楽しむ習慣づくりを支援するため、積極的に読書に取り組んでいる小学校を表彰した。
12	宇宙教育推進事業	2,043	264	児童生徒の宇宙及び最先端の科学技術に関する知識を深め、宇宙をはじめ科学への興味・関心を高めるため、「超小型模擬人工衛星（缶サット）体験会」の募集・運営を行った。ロケット発射見学については、発射時期の延期のため中止した。

## 教育センター学びの丘

### I 教育センター費

1	基本研修事業	11,664	10,879	小・中・高・特別支援学校の新規採用及び中堅教員並びに幼稚園等の新規採用教員を対象とした研修を実施した。
---	--------	--------	--------	---

〔初任者研修対象者〕

校 種	拠点校方式		単独校方式		備 考
	学校数	人数	学校数	人数	
小学校	102	123	0	0	
中学校	44	60	5	5	
高等学校	0	0	18	35	
特別支援学校	5	20	8	17	内4校両方式重複
計	151	203	31	57	

〔中堅教諭等資質向上研修対象者〕

区 分	小学校	中学校	高等学校	特別支援学校	計
中堅教員	81人	54人	56人	29人	220人

〔幼稚園等教員研修対象者〕

区 分	公立幼稚園	私立幼稚園	認定こども園
新規採用教員	0人	15人	81人

2 専門研修事業 4,757 3,248

教職員としての資質・能力の向上を図るため、校種、職種、教科、職務等に応じた研修を行った。また、長期研修として、教員が教育センター学びの丘で1年間、研究に取り組んだ。さらに、社会体験研修として、教員を社会教育施設、社会福祉施設等に1年間派遣し、資質・能力の向上を図った。

〔研修講座実施状況〕

講 座 数		46講座
受 講 者	小学校	823人
	中学校	563人
	高等学校	384人
	特別支援学校	179人
	計	1,949人

〔主な講座内容〕

- ・教育経営研修
- ・特別支援学級担当教員研修
- ・学校事務職員研修
- ・特別支援教育研修
- ・教職等専門研修
- ・養護教諭、栄養教諭、学校栄養職員研修
- ・主任等研修
- ・各教科等研修
- ・教育相談研修

3 研究推進・調査研究事業 1,827 1,511

研究推進事業として、県内の公立学校22校と2関係機関等に対し、授業力や学校力向上に係る研究支援を延べ32回行った。また、校内研修や個人研修等の充実に資するための動画研修パッケージを7本作成した。さらに、学び続ける教職員を支援するための事業として、県内の公立学校8校と3関係機関に対し、授業づくりや校内研修に係る相談や協議等、所員によるコンサルテーションを延べ20回行った。

教育支援課

**I 教育連絡調整費**

1 不登校等総合対策事業 380,775 357,493

不登校・いじめ等問題を抱えている児童生徒の心のケアを図り、教員の資質向上及び各学校の教育相談体制を充実させるため、小学校161校、中学校110校、義務教育学校1校、県立高等学校46校及び特別支援学校10校にスクールカウンセラー等を配置し、小中学校の未配置校には、近隣の拠点校からスクールカウンセラーを派遣して対応した。また、スクールソーシャルワーカー等を30市町村（和歌山市は独自で配置）と県立高等学校17校に配置した。

2 教育相談推進事業 2,286 2,249

児童生徒の心理的な諸問題や、特別な支援を必要とする子供の教育に関して、教職員等の相談に応じ、問題解決のために専門的立場から支援した。

〔年間教育相談実施状況〕

校種	小学校	中学校	県立学校	その他	計
相談件数	83件	38件	23件	1件	145件

3 学びのセーフティネット事業 62,011 58,215

不登校児童生徒等の学校復帰と学力保障のため、適応指導教室を設置する17市町に、訪問支援員を配置した。

**II 保健体育総務費**

1 保健・給食管理運営事業 134,784

8,496  
〔翌年度繰越額〕  
124,200

学校給食での県産品・ジビエの利用拡大を図るため、リーフレットを作成した。また、学校給食における安全安心の確保のため、学校給食用食品衛生検査を実施した。

2 教職員児童生徒健康管理・健康指導事業 70,564 66,569

児童生徒等及び教職員の健康の保持増進を図るため、学校保健安全法等に基づく健康診断を実施した。また、健康教育の推進及び健康課題の解決に向けた研修会や協議会を開催した。

3 学校安全管理指導事業 120,796 109,044

児童生徒の事故等に対応するための保険に加入するとともに、災害に対して給付金を支給した。

4 学校を守る 地域を守る 防災リーダー育成事業 4,430 3,387

学校と地域の防災力アップのため、災害時に児童生徒を守る防災リーダー（管理職等）と地域の支援活動等の担い手となる高校生・教職員を育成した。

5 総合的な依存症予防教育事業 1,796 1,323

ゲームやスマートフォンに関するルール作りを推進するためにポスターを作成し、学校等に配布した。また、依存症予防教育に係る研修会を2回開催した。

(前年度繰越分)

1 保健・給食管理運営事業 111,200 111,200

県立学校の感染症防止対策のため、保健衛生用品等を購入した。